

## 瑞沼小学校の廃校決まる

9月定例議会

9月定例議会が1日から22日まで開会され、瑞沼小学校の廃校が条例改正により正式に決定しました。この問題については、一般質問、ホームページにおいて、現状、又将来にわたり生徒の減少が続く事が予想されると言う事で、さつき小学校との統廃合を訴えて来ましたが、今議会に於いて正式に決定しました。条例改正には、2/3以上の賛成が必要と言う事でしたが、共産党6名を除く全員が賛成し可決されました。今後は、瑞沼小学校をより市民にとり有効な施設として活用して行くかと言う事を考えて行かなければと思います。大切な施設ですので多くの市民の皆さんが利用出来る施設にして行かなければと思います。



瑞沼小・有効活用が期待されます

## 平成15年度決算承認する

9月議会は、平成15年度の決算を承認する議会でもあります。決算額は歳入総額360億3200円と言う事で前年比0.4%増でした。しかし、起債を昨年より10億多い51億発行した結果でした。小泉内閣の三位一体改革の影響も大きく財政的には9.8億の減収と言う事です。人口減少が続いている影響も市税に現れ3.2%の減収、一方、国民健康保険、老人保健、介護保険等への補てんが19億と毎年増加しています。市税、国民健康保険の収納率も改善せず、併せて51億円の未収金がある状況です。回収は無論、歳出全般に思い切った見直し、改革をしない限り減収による市民サービスの低下を回避する事が出来ないのではと思います。議会が大胆に政策提案をしなければと思います。

- ・補正予算は8746万円 昨年比-90%<sup>パーセント</sup>
- ・防犯まちづくり条例制定する。

財政難もここまで来たかと言う程の補正予算でした。総額8746万円でした。昨年の9月補正予算に

対して-90%以上の減額予算でした。行政、市民、事業者が協力して防犯意志高揚の条例を制定する。本格的な事業は難しく、農産物直売場に400万の補助金がついた事が新しい事業です。

## 不登校児童生徒は160名 小学生23名・中学生137名

今議会には、瑞沼小学校とさつき小学校の統廃合が決定しましたが、学校に通えない子供達の存在も見逃す事は出来ません。平成15年度の市内の不登校児童生徒は160名います。14年の195名よりは減少したと言う事ですが、決して見過ごす事の出来ない数字です。



適用指導教室「野のさと」

小中の一貫校を作り学力をつけさせる事に力を注ぐと言う事です。子供達の将来を考えれば、160名をほおっておく訳にはいかないと思います。空き教室を使った不登校生対策は是非やらなければと思います。

## 八王子市では、不登校生徒の小中一貫校を特区で

「野のさと」と言う通学出来ない子供達の通う施設があります。通う子供達も少なく、大半の子供達は教育を受けることもなく家で過ごしています。先進自治体では、きちんとした教育をしなければと言う事で、公立のリースクールを教育特区として創設する所が出てきました。その1つが八王子市です。特区として、

## 新教育委員2名決まる

任期満了と退任による新教育委員が選任されました。

- ・恩田 薫氏（再任）
- ・榎本幹雄氏（新任）

## 6月定例議会 一般質問 一般質問の要約です。

### 1. 一般競争入札率を上げる事による税の節減は出来ないか、企業と良好な関係を、誘致を促進する課の設置の考えは

入札に関しては、私は関与していないので、助役に答弁させます。(市長)  
平成14年度一般競争入札は142件の内6件で4.2畝、平成15年度では、96件の内10件で10.62畝です。平成15年度から一般競争入札の拡大を進めている。一般競争入札は落札率が低いと言う事で税の節減にも寄与していると考えている。検討してゆきたい。(助役)



中央地区商業施設工事始まる

三郷市には工業団地はおろか、工業専用地域すらありません。せめて工業専用地域が出来ればと思っている。誘致するためには、専門的知識を持った職員を採用する必要があると思うが、大変難しい点がありますので、専門の業者に委託する事が良いのではないかと思います。(市長)

### 2. 学校統廃合校舎を活用した不登校生徒の公的フリースクール創設の考えは

学校統廃合後の校舎利用につきましては、統廃合が実施された後に検討して行きたい。公的フリースクールについては、教育委員会に調査させ研究して行きたい。(市長)



公的フリースクール

不登校の相談はある面繊細な活動であると同時に専門性を必要とする事から今後は十分配慮しつつ市民ボランティアを含めた取り組みについて検討して行きたい。(教育長答弁)

### 3. テレビ放映されるほどのシルバー元気塾の今後の取り組みは、統廃合校舎を拠点に！

シルバー元気塾について、市民の健康については特に強い関心を持っている。効果は十分に承知している。心身ともに元気になる事業と考えている(市長)

参加者の増加に、会場の増設も限界に近づいている。拠点施設を作る事も選択肢の1つと考えている。医療分野についても一定の成果があったと考えている。参加者の足腰の年齢測定では、6歳若返った効果も出ている(教育長答弁)

### 4. 新和吉川線の記念碑通りまでの延伸計画は、又、建設費と財源について

事業化の段階ではないので具体的費用は積算していないが、概算では草加流山線までは約36億円、記念碑通りまでは16億円かかる。財源は担当部局と十分調整しなければならないが、国庫補助金や起債に頼らざるを得ないと思っている。他の幹線道路の整備については、道路単独で整備を行かなければならないと考えている。(都市整備部長)



中央地区4車線道路が接続する現在の道路

#### 雑感

#### 埼玉県電子入札システムに参加せず

三郷市は本年度から進める埼玉県の電子入札システムに参加しません。このシステムは、各自治体が独自にシステムを構築するのではなく県のシステムを利用するシステムです。近隣では、吉川、草加、越谷、松伏町が参加します。なぜ参加しないか問いましたら「システムを確認した上で参加する」と

毎年度契約件数の状況				
年	全体	競争	指名	随
H13	440	19	169	252
H14	355	6	150	199
H15	326	10	130	186

※300万円以上の契約件数

競争は制限付き一般競争入札  
指名は指名競争、随は随意契約

答弁。参加する意志がないのではと誤ってしまいます。国も地方もIT化が急がれています。積極的に参加する事が、経費削減を図る事が出来、行政の電子化を進める事が出来るのではと思います。残念に思います。

#### 行政視察

- \*個人で視察\*
- ・ヘルスアップ事業について  
草加市を訪問(2004.9.1)
- ・高齢者筋トレについて  
幸手市を訪問(2004.9.3)